

第7回スポーツ振興賞 受賞作品概要

☆スポーツ振興大賞☆	
作品名	泳ぐ社会貢献（水の世界もバリアフリーに！）
応募者	認定NPO法人プール・ボランティア（大阪府大阪市）
<p>作品の概要</p> <p>プール・ボランティアは、1999年に大阪で設立した日本で最も古いスポーツNPO、事業型NPOです。「水の世界もバリアフリーに！」を合言葉に、今では年間延べ約4,000名の障害者を延べ4,000名を超える「泳げるボランティア」がマンツーマンで水泳指導をしています。職員は元水泳選手であり、ビジネスマンであり、障害者に関しては全くの「ど素人」だからこそできるユニークな取り組みが特徴です。</p> <p>障害者専用プールを使わず一般の市民プールで泳ぐ、保護者は一緒に入水しない、完全マンツーマン体制、どんな障害でも受け入れる、障害者は最新のおしゃれな水着、スポンサー名の入ったお揃いのスイムキャップを着用、また、車いすに乗ったままプールに入ることができるプール用車いすを独自に製作したり「自宅からプールまでの引率」「お着替え」「プール指導」の分業制などを取り入れたりしています。他にも、東京都庁福祉保健局から特別な許可をいただき「ヘルプマーク・スイムキャップ」を考案して全国に無償配布しています。大阪マラソンのオフィシャル寄付先団体に4年連続採択され、昨年の2018年には「認定NPO」を取得しました。「プール・ボランティア」は、登録商標です</p>	

☆スポーツ振興賞☆（6作品）					
スポーツ庁 長官賞	<table border="1"> <tr> <td>作品名</td> <td>世界遺産×山岳スポーツ～日光を愛する人々と地域住民で作りに上げた「日光国立公園マウンテンランニング大会」～</td> </tr> <tr> <td>応募者</td> <td>日光トレイルランニング実行委員会（栃木県日光市）</td> </tr> </table>	作品名	世界遺産×山岳スポーツ～日光を愛する人々と地域住民で作りに上げた「日光国立公園マウンテンランニング大会」～	応募者	日光トレイルランニング実行委員会（栃木県日光市）
	作品名	世界遺産×山岳スポーツ～日光を愛する人々と地域住民で作りに上げた「日光国立公園マウンテンランニング大会」～			
応募者	日光トレイルランニング実行委員会（栃木県日光市）				
<p>作品の概要</p> <p>日光国立公園マウンテンランニング大会は、「2015年9月の台風18号の被害を受けた日光・鬼怒川に元気を取り戻したい」と願う地元の皆さんと日光を愛する若者によって立ち上げたトレイルランニングの大会です。2016年11月に第1回大会を開催し、2018年の第3回大会では国内外より約1500名が参加する大会へと成長致しました。</p> <p>日光は、世界遺産二社一寺を有する歴史と文化に所縁のある地域であり、大会を通じて日光の歴史を多くの人々に伝えていきたいという思いから、日光東照宮表参道をメイン会場として大会を開催しています。また、廃業した旧霧降スキー場や旧霧降牧場跡地をコースに設定し、地域に埋もれていた場所を再利用しました。商店街の方々の協力を得て地元の名産品をエイドで提供したり、日光市内の中高生や自治会等多くの方々がボランティアとして参加したりと、地域の皆さんと一緒に大会を作り上げています。今後は、一年を通じて日光の歴史と自然を体験してもらえるようなエコツーリズムの取り組みや、外国人観光客の多い日光の地の利点を生かしたプロモーション戦略等を進めていきたいと思っております。</p>					
観光庁 長官賞	<table border="1"> <tr> <td>作品名</td> <td>外国人向け剣道体験ツアーSAMURAI TRIP</td> </tr> <tr> <td>応募者</td> <td>SAMURAI TRIP（東京都大田区）</td> </tr> </table>	作品名	外国人向け剣道体験ツアーSAMURAI TRIP	応募者	SAMURAI TRIP（東京都大田区）
	作品名	外国人向け剣道体験ツアーSAMURAI TRIP			
応募者	SAMURAI TRIP（東京都大田区）				
<p>作品の概要</p> <p>外国人向け剣道体験ツアーSAMURAI TRIPは、年間1,000名を超える訪日外国人に本格的な剣道の体験アクティビティを提供しています。体験アクティビティとして、剣道体験・剣道具製作工房見学・剣道レストランでの和食体験の3アクティビティを用意し、スポーツとしての側面と武道文化としての側面の双方を広く伝えています。現在、東京、大阪、京都、札幌、福岡の各都市にて剣道体験ツアーを催行しており、2017年4月のスタート時から世界30カ国1,346名のゲストを受け入れ、80%を超えるゲストから5つ星レビューを獲得しました。全日本剣道連盟、全日本道場連盟、スポーツ庁とも連携しており、スポーツ国際貢献事業「SPORT FOR TOMORROW」のコンソーシアム会員でもあります。また、NHK World、NHK、TBS、テレビ東京、スウェーデン国営放送SVT等のテレビ局のほか、各旅行メディアや著名Youtuber等、国内外問わずメディア出演を果たしています。今後は日本全国多都市展開のほか、海外剣道家向けの剣道キャンプの実施、海外の旅行会社やクルーズ船会社との包括提携等を行い、年間受入人数10,000名を目指します。</p>					

第7回スポーツ振興賞 受賞作品概要

<p>経済産業省 商務・サービス部 審議官賞</p>	<p>作品名 応募者</p>	<p>スミセイ “ Vitality Action ” の取組みについて 住友生命保険相互会社（東京都中央区）</p>
<p>作品の概要</p> <p>住友生命では、本業を通じて「健康寿命の延伸」という社会的課題の解決に取り組んでおります。この取組みを「CSVプロジェクト」と位置づけ、「お客さま」・「社会」・「会社・職員」とともに、健康増進という新しい共有価値を創造することで、日本の健康寿命の延伸を目指しています。スミセイ “ Vitality Action ” は、このCSVプロジェクトの柱のひとつ、「社会全体への健康増進の働きかけ」の具体的な社会貢献事業として、2017年度の住友生命創業110周年の節目にスタートしたプロジェクトです。</p> <p>本プロジェクトは、1つの組織だけでなく、自治体や財団、研究者、アスリート等様々な皆さまのご協力を得ながら健康寿命の延伸を推進していく「コレクティブインパクト」という手法を活用しており、趣旨に賛同いただいた様々な種目のトップアスリートを講師にお迎えし、全国110箇所で開催する親子スポーツイベントや大規模ランイベントを開催し、健康増進に向けた「行動促進」を図っています。また、弊社関連財団と連携し全国にて“健康”をテーマとしたセミナー・イベントの開催や、啓発冊子の配布等を通じて健康増進への「理解促進」を図るプロジェクトとなっています。</p>		
<p>日本商工会議所 奨励賞</p>	<p>作品名 応募者</p>	<p>STREET RUGBY 一般社団法人STREET RUGBY ALLIANCE（東京都中央区）</p>
<p>作品の概要</p> <p>ストリートラグビーとは3人対3人で時間は1分間の試合です。参加者はトライを目指し18m×7mのスペースを駆け回り、タックルの代わりにタッチでディフェンスを行い接触や転倒を防ぐ。初めての方でも安全で安心して楽しめるゲームです。フィジカルヘルスとメンタルヘルスの双方からのアプローチで健康づくりができます。頻繁な攻守の入れ替わりやボールのパスキャッチにより、空間認識機能向上や認知症等の予防等にも繋がります。また、年齢格差の無い心身の健康増進を図り、他者とのつながりを自覚し自己存在、自己価値の確認を促します。ストリートラグビーは健康寿命の延伸、まちにおけるソーシャルキャピタルの向上をテーマとしています。</p> <p>3年以上にわたる継続的な発展と広がりにより昨年の開催は日本全国40箇所以上、参加者の累計は約2万人。人々が競技場に足を運ぶのではなく、フィールド自体が人々の集まる場へ設置されます。スポーツ経験の有無を問わず国籍を問わず、老若男女・障害者の人々が交流できる仕組みとしてのストリートラグビーをさらに発展させ、新しいかたちでのスポーツ振興、スポーツおけるまちづくりを実現させます。2019年ラグビーワールドカップ日本開催の盛り上げにも力を入れています。</p>		
<p>日本スポーツツーリズム推進機構 会長賞</p>	<p>作品名 応募者</p>	<p>廃校をスポーツ合宿施設に再生しスポーツツーリズムの拠点に 株式会社銚子スポーツタウン（千葉県銚子市）</p>
<p>作品の概要</p> <p>35年前に90,000人の人口が、今年は62,000人を下回りました。2014年5月、NPO法人銚子スポーツコミュニティーを設立し、観光とスポーツの融合による地域活性化の事業を自分たちで企画実行しました。銚子市内には、スポーツ者向けの宿泊施設がないことに気がつき、そのニーズが確実にあることがわかりました。1965年夏の甲子園準優勝投手の木樽正明さんが、故郷の銚子市に戻ってきました。銚子市の野球を復活させ、地域活性化をとの思いでした。我々と意気投合し、廃校となった旧市立銚子西高校を視察に行き、それがスポーツ合宿施設にリノベーションが出来ることに気づき、企画書を作成しました。</p> <p>NPOの仲間は、始めは反対者もいましたが出資し、銚子市が半分を出資する株式会社銚子スポーツタウンを設立。銚子スポーツタウン協議会を設立し、市内外の事業所と組織と連携を結んでいます。2017年7月に建設工事を着工、2018年2月に工事が完了。経営理念は、銚子スポーツタウンを拠点として、銚子市経済の活性化を図ることです。銚子スポーツタウンは、旧銚子市立西高校をリノベーションした宿泊・スポーツ施設です。施設内に、グラウンド・体育館・多目的に使えるお部屋を完備！様々なスポーツ合宿や企業研修、企業運動会に対応します。</p>		

第7回スポーツ振興賞 受賞作品概要

スポーツ健康産業団体連合会 会長賞	作品名 応募者	インバウンド スポーツ合宿 による地域 活性化 一般 社団法人アントラーズ ホームタウンDMO（茨城県鹿嶋市）
	作品の概要	<p>茨城県東部の鹿行地域で、スポーツツーリズムを中心に地域振興を行うアントラーズホームタウンDMOは、海外からのインバウンドスポーツ合宿事業を行っています。鹿行地域は日本の玄関でもある成田空港からアクセスが良く、クラブワールドカップの健闘やACL優勝によって世界的に知名度を上げている鹿島アントラーズのホームタウンでもあり、地域内に100面以上のサッカーグラウンドを有している合宿地のメッカでもあることから、インバウンドスポーツ合宿の事業行う上でとてもポテンシャルが高い地域だと考えています。</p> <p>設立初年度の2018年度から9カ国（中国、香港、台湾、韓国、ベトナム、タジキスタン、スリランカ、東ティモール、キルギス）から合宿受入を行い、合計1,596の宿泊創出を実現しました（日本人受入も含めると2,000宿泊超）。立ち上がりとして想定を超える合宿受入数で、各自治体や宿泊施設からも大きく喜ばれ市民からも注目を集め始めています。訪れたチームと地元チームの交流戦を行うなど、育成年代の国際交流の場として市民参加の機会も生まれています。インバウンドスポーツ合宿という国内でも前例のない事業ですが、継続的に発展させ、今後は更なる地域振興に繋げてまいります。</p>